

# 教育 かしま

第59号

発行日  
令和6年9月15日  
発行  
鹿嶋市教育委員会  
連絡先  
鹿嶋市教育委員会  
Tel0299-82-2911 (内線521)



(電子版はこちらから)

総務就学課

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。



## 小中一貫教育を推進しています

### ● 鹿嶋市の小中一貫教育の歩み

鹿嶋市では、平成28年度に「鹿嶋市小中一貫教育基本方針」を策定し、高松小学校、高松中学校をパイロット校として、同30年4月に小中一貫教育がスタートしました。

高松小学校と高松中学校では児童生徒の学力の向上や心の成長、「中1ギャップ」の解消など小中一貫教育に期待される成果が得られ、また、中学校の大規模改修を機に施設が一体化されたことで、学校経営のグランドデザイン等の統一性が図られ、教職員の連携などを含めて更なる成果を上げています。

これらの成果を踏まえ、他の学校においても、義務教育9年間の連続した学びの中で「確かな学力」と「豊かな人間性」を育むことができる小中一貫教育の導入が有効であるとし、令和5年度からの2年間で試行期間として施設分離型の一貫教育の実施可能性について検証しました。学校間相互の乗り入れ授業や児童生徒の交流、またICT機器を活用した専科教員によるオンライン指導など、中学校区を一つのグループとして各校がそれぞれに

工夫することで、施設分離型の一貫教育の推進が可能と判断し、令和7年4月を「鹿嶋市小中一貫教育」の本格実施のスタートと位置づけました。具体的には下記の内容について力を入れていきます。

#### ■ 系統性のある教育の推進

- ・ 中学校区で統一したスタンダード（学習のきまり・生活のきまり）の作成・改訂
- ・ 義務教育9年間を見通した学びの系統表の改訂

#### ■ 教職員の交流

- ・ 中学校教員による小学校への出前授業
- ・ 小学校における教科担任制の推進
- ・ 小学校教員による中学校3年生対象の夏季講習支援

#### ■ 「小=小」、「小=中」間の児童生徒の交流

- ・ 小中合同あいさつ運動
- ・ 中学校入学説明会における交流

### ● 小中一貫教育推進委員会の開催

令和6年8月6日に開催した「小中一貫教育推進委員会」では、アドバイザーの東北学院大学・渡辺通子教授による施設分離型小中一貫教育の取り組み事例等の講話の後に、各中学校区の一貫教育の実績、令和7年4月に向けた一貫教育の実施計画について協議しました。協議の中で、中学校区ごとの小中一貫教育のグループごとに「〇〇学園」等の名称を取り入れ、より一体感をもたせ、外部からも見えるような形で一貫教育を推進したいとの提案もありました。



同じ鹿野中学校区の鹿島小と豊津小による合同陸上記録会(令和6年6月実施)



# Let's enjoy English

鹿嶋市では、もっと英語を学びたい子どもたちに、英語を楽しく学びながら、積極的に英語でコミュニケーションを図る機会を提供しています。このような体験は、コミュニケーションスキルの向上、さらには世界にはさまざまな文化・習慣・考えなどがあることを体験し、多文化を理解する機会にもなっています。

## 「English Lounge」 and 「English Lounge Junior」

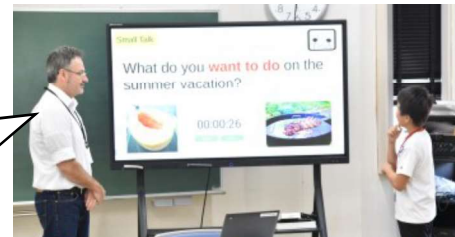
鹿嶋市の小中学校に勤務しているALT（Assistant Language Teacher）を中心に、小学5・6年生を対象に鹿嶋市教育センターにおいて、年8回の英会話教室を開催しています。教室では、英会話のほかオールイングリッシュのアクティビティなどを行っています。子どもたちには特に「The scavenger hunt（スカベンジャーハント）」が人気です。直訳すると「がらくた集め」という意味で、欧米圏では誰もが一度は体験したことがある、とても身近なものです。子どもたちは、様々なタスクが書かれたリストを見て、英語でやり取りしながら多くのタスクをクリアしていきます。

また、小学3・4年生を対象にした「English Lounge Junior」も夏休み期間中に3回行い、21人が参加しました。

### ●タスク例

- Bring something soft.（何か柔らかいもの持ってきて）
- Answer Kashima City's symbol bird.  
（鹿嶋市を代表する鳥を教えてください）
- Go to Mr. Denning and answer the quiz.  
（デニングさんのところに行って、クイズに答えて）

Have fun speaking English!!  
You are all awesome!!  
Anything is possible when you try!!



## Kashima English Urban Camp

東京都江東区にある「TOKYO GLOBAL GATEWAY BLUE OCEAN」で小学5・6年生を対象に12月26日に実施します。施設内はオールイングリッシュとなり、表示は英語で、外国人スタッフとのコミュニケーションもすべて英語です。まるで外国にいるような環境が整っています。

施設内の各エリアでは「ミッションカード」が配られ、そこに書かれたミッションをクリアするため、英語での注文や買い物に挑戦します。レストランエリアでは、メニューを見て、ジェスチャーを交えながら外国人スタッフに注文をします。

募集は10月に行い、定員は30人の予定です。詳しくは鹿嶋市教育委員会 教育指導課 TEL0299-82-2911までお問い合わせください。



▲エアポートゾーンでは、飛行機の機内をイメージした施設にて、ANAの現役CAと英語で会話に挑戦



## 関東中学校体育大会に出場

茨城県中学校総合体育大会で上位入賞により出場権を獲得した2名の選手が関東大会に出場しました。

水泳（宇都宮市・日環アリーナ栃木）には、大野中学校1年 おおかわあこ 大川亜子さんが200m背泳ぎに出場しました。課題となっていた後半の泳ぎを踏ん張り、県総体の記録より1秒縮める頑張りを見せました。

卓球（前橋市・ALSOKぐんまアリーナ）には、高松中学校2年 おかだりょうすけ 岡田僚介さんが個人戦に出場し、1回戦を突破しました。

2人とも「次年度につながる大会となった」と、はつらつとした表情で学校に戻ってきました。



▲水泳200m背泳ぎに出場した大川亜子さん



▲卓球個人戦に出場した岡田僚介さん



# SDGs 鹿嶋市 × Shops

## 「メルカリShops」で市不要物品の販売を開始しました！

鹿嶋市では、このたび（株）メルカリが提供するサービス「メルカリShops\*」を活用し、時代の変化とともに公共施設などでは使わなくなった物品などの販売を開始しました。第一弾として市内小学校で使っていた木製の椅子、鼓笛隊で使っていたベルリラや小太鼓などの楽器、食器などを出品しています。この取り組みで、廃棄コストの削減を図り、物品販売によって得た利益は新しい図書や学校備品の整備に充てる新たな財源となります。

ぜひ一度、鹿嶋市「メルカリShops」をご覧ください！

\*メルカリShops…オンラインフリマアプリ「メルカリ」内にショップを開設できるサービス

▶鹿嶋市メルカリShopsはこちら



▲8月20日に「メルカリShops」販売発表会が行われました。  
左から、川村教育長、田口市長、(株)メルカリ伊藤亮太政策企画参事



## 学校での取り組み

## ペットボトルキャップをリサイクル子どもたちに還元！

令和5年8月、鹿嶋市と東洋製罐グループホールディングス(株)及び(株)鹿島アントラーズFCは包括協定を締結し、環境教育連携事業を進めています。この事業では、市内小中学校において、飲料用ペットボトルのキャップを各家庭・学校から集め、再資源化・再商品化する取り組みを行い、リサイクルした製品は児童生徒に還元しています。昨年度は鹿島アントラーズのロゴが入った「うちわ」を作成し、この「うちわ」は鹿島アントラーズ応援事業でも使われました。今年度はどんな製品ができるのかご期待ください。

その他、市内小学校と協力したゴミ拾いなども企画されており、子ども達が学校でSDGsに取り組み、地域課題について学び、行動することで、身近なところから持続可能な社会づくりに積極的に貢献しようとする意識を育てていきます。



▲アントラーズ  
ロゴ入りうちわ

みんな

## スタジアムで応援しよう！

(株)鹿島アントラーズFCから小学5・6年生を対象にホームゲームの招待を受けています。

申込期間は9月19日(木)までとなっていますので、ぜひお申込みください。

●実施日時・対戦相手

10月19日(土)  
アビスパ福岡戦  
14時キックオフ



▲申込みはこちら



## サッカーを通じた交流が活発化

サッカーフェスティバルをきっかけとした国際的な交流が広がりつつあります。第32回鹿嶋サッカーフェスティバルでは、中国から重慶市輔仁中学校と深圳市翠園中学校の2つのチームがジュニアユース(U14)の部に参加しました。中国チームの日本訪問によって、中高生の中国遠征が実現し、8月12日から中国・瀋陽市で開催された第10回平和カップ国際青少年サッカー大会に中学生の選抜チームと鹿嶋学園サッカー部が出場しました。この大会には日本、中国、韓国、ラオス、マレーシア、モンゴル、ニュージーランド、ロシア、タイの10か国のチームが参加しました。





## 塩づくりに挑戦！ (はまなす公民館地区まちづくり委員会 塩づくり体験)

はまなす公民館地区まちづくり委員会の夏の恒例行事「はまなす塩づくり体験」が7月21日(日)に開催され、子ども28人、一般26人と実行委員65人が海水からの塩づくりに挑戦しました。本事業は、鹿嶋市郷土かるたの読み札「【す】砂浜で塩炊き出せ文太長者」にも取り上げられた「長者ヶ浜」の名前の由来となっている文太長者伝説(下段「鹿嶋の文化財」参照)の伝承と、青少年の健全育成と参加者相互の交流を目的に、同委員会における重要な事業のひとつとして27年間にわたり実施しているものです。

梅雨明けの猛暑日に、火を焚いて塩を作るという暑さとの戦いになりましたが、真っ白な塩を作り上げることができました。



## 第20回 鹿嶋市芸術祭 開催！

市民の創作作品を多数展示します。ぜひご来場ください。

●会期 10月22日(火)～27日(日)

9時30分～16時30分

(最終日のみ15時まで)

●会場 鹿嶋市立中央公民館 体育館

●展示 絵画/書/写真/工芸

手芸/華道/和紙絵

自由創作の部門



▲力作の数々が並び (昨年度の芸術祭)



芸術祭のほか、て～ら祭や地区公民館祭、住民体育祭やスポーツフェスティバルなど様々なイベントが目白押しです。芸術の秋、スポーツの秋を楽しみましょう。

## KASHIMA CHILDREN'S UNIVERSITY かしま子ども大学 開校



「令和6年度かしま子ども大学」が7月13日(土)に開校しました。24人の小学生を5期生の学生として迎えた開校式では、本大学の学長である川村等教育長が「参加した学生の好奇心をくす

ぐり、学校教育を飛び出た学びを提供し、将来の夢につながっていくことを期待します。」とあいさつしました。

同日の第1回講義「気象の不思議を体験しよう！」(古川武彦先生/気象コンパス)は、気圧についての話をはじめ、青空や虹の仕組み、気象の観測方法など、実験を交えながら行われ、学生たちは最後まで真剣に受講していました。

さまざまな質問が出るなか「人工的に台風を発生させることは可能なのか」という質問には、古川先生が「理論的には人工で台風を発生させることは可能だが、現段階での科学力では難しい」と回答する場面もあり、講義を通して学生たちは気象に関する理解を深めました。



## 鹿嶋の文化財 第十一回 文太長者伝説

角折地区には「塩焼き文太」の物語が伝えられています。文太は鹿島神宮の宮司に仕えていた下人でしたが、ある時暇を出され、角折の浜で塩づくりを始めます。文太の塩は味がよく、食べる人は病もなく長命であると評判で、文太は長者となり、名を文正と改めました。

文正には子がいなかったため鹿島神宮に願をかけ二人の女の子を授かります。娘たちは成長してたくいまれな美人となり、近隣から嫁に欲しいと申し込まれますが、娘たちは受け付けません。ある時、都から商人に変装した高貴な人と娘は恋に落ち、都へ行ってしまいました。文正もその後を追って京へ上り、その時に『朝日さし夕日かがやくこの岡に黄金千ばい二千ばいかな』と歌を残しました。鹿島浦を通る船が角折の沖を通る時、黄金の輝きで目がくらんださまが表現されています。



文太長者の物語は多くの文献に書かれており、とくに有名なのは「御伽草子」の中の第一巻にある「文正草子」です。これが全国に売られ、愛読されて塩焼き文太の名は有名になりました。はまなす公園の敷地内に現在も礎石が残る「霜水寺西堂跡」は文正草子の黄金輝く岡のお堂とも考えられており、市の指定文化財になっています。

▼御伽草子の「文正草子(塩焼き文正)」は「京都大学貴重資料デジタルアーカイブ」で紹介されています。

